



パワーアップ！

スマート防災ポータル

- 菊池川流域治水プロジェクト 2.0 -



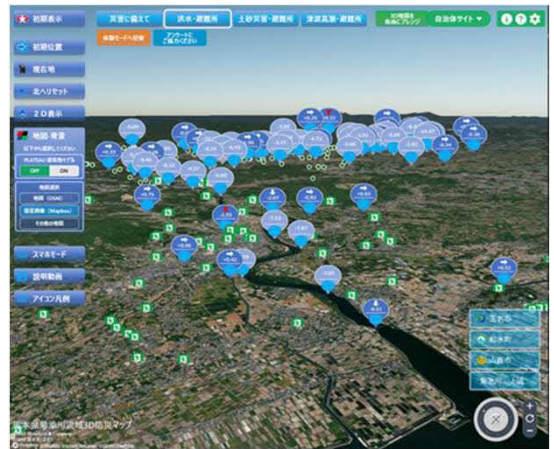
住民の命を守る！ **進化する3D防災マップ** で「もしも」に備える！

令和5年度の熊本DX実証事業で開発された「菊池川流域3D防災マップ」が、地域の皆様の安全と安心をさらに強化するため、大きな進化を遂げます。これまで国土交通省PLATEAU（3D都市モデル）を基盤とし、地形や建物、浸水リスクなどを立体的に可視化することで、「見える防災支援ツール」として住民や行政の皆様の防災判断に活用され、高い評価を得てきました。アンケート調査では「避難ルートの話し合いのきっかけになった」など、住民の皆様の防災意識向上に貢献していることも確認されています。

実証実験で得られた、皆様からの貴重なご意見を元に、さらに役立つ防災インフラへと発展させるため、新たに『**スマート防災ポータル-菊池川流域治水プロジェクト 2.0-**』と名称を変え、取り組みます。

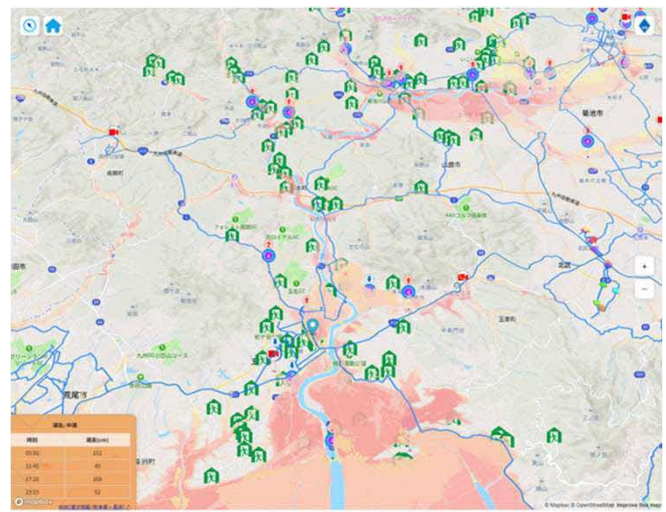
ここが大きく**進化**します

！



① 「もしも」に備える、立体的でわかりやすい情報

洪水・高潮・土砂災害といった複合災害への対応はもちろん、津波浸水想定区域や高潮浸水想定区域など、防災に欠かせない情報が3D都市モデル上で重ね合わせて表示されます。表示される情報には、河川水位計や避難所、洪水浸水想定区域（最大規模）、土砂災害警戒区域、潮汐情報なども含まれます。



② カバーエリアが大幅に拡大！より広範囲で皆様のサポート！

災害発生時の住民移動の範囲を考慮し、マップのカバー範囲を拡大しました。これまでのエリアに加え、周辺の自治体も含めた地域に関する情報も表示され、より広範囲での避難行動をサポートします。

③ 「今」必要な情報が手元に、どこでもアクセス可能！

皆様からご要望のあったスマートフォンでの操作性が大幅に向上し、屋外でもスムーズに利用できるように最適化されます。

④ 避難行動を強力にサポート！

災害発生時、どの避難所へ行くべきか、どのルートが安全か、といった判断を助ける機能が充実し、皆様の命を守る行動をサポートします。（詳細：裏ページ）

■避難行動サポートの詳細

公共交通運行情報および**ライブカメラ情報**が共有されます。
バスの運行情報をリアルタイムに常時配信し、河川のライブカメラ映像も常時提供されます。これらの情報は、災害発生前後の移動判断、特に避難時の車移動の判断に役立てていただけます。

日常的にこのポータルを使っていただき、慣れてもらって、「いざ」という時に活用できる身近な存在に！



被災状況の共有機能が追加されます。

災害時のドローンやスマートフォンで撮影された映像も共有され、状況把握や避難場所の判断などに活用できます。

<皆様の“声”が、未来の防災を創ります！>

この『スマート防災ポータル-菊池川流域治水プロジェクト2.0-』の取り組みは、令和7年度において実施される実証実験であり、皆様に本当に役立つ「広域防災インフラの導入モデル」を策定し、持続的な運用を目指しています。そのためには、実際にポータルをご利用いただく皆様からのご意見が不可欠です。

皆様からお寄せいただく貴重なご意見は、システムのさらなる改善や、広域自治体連携による継続利用モデルの策定、ひいては菊池川流域全体の防災力向上に大きく貢献します。

この『スマート防災ポータル-菊池川流域治水プロジェクト2.0-』は、2025年9月8日に一般公開します。

今後はSNSや地域コミュニティ、学校教育の場でも積極的に活用を促進し、ポータルの運用に関するデータ収集やアンケート調査を実施いたしますので、ぜひご協力をお願いいたします。

<あなた専属の“防災コンシェルジュ”へ>

この進化するスマート防災ポータルは、まるであなたのポケットに入る“専属の防災コンシェルジュ”。

そして、皆様の「声」が、そのコンシェルジュをより賢く、より頼りになる存在へと育て、地域全体の安全を未来へとつなぐ力となります。

2025年9月8日
「実証実験」一般公開

事業名

スマート防災ポータル
- 菊池川流域治水プロジェクト2.0 -

災害時の避難行動支援における
3D都市モデル活用した実証実験



問い合わせ：玉名市建設部都市整備課

TEL：0968-75-1122

FAX：0968-75-1221

↑アクセスはここから